

TDU Agora



特集

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム発足

～地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援～ …… 1

CONTENTS

今月の顔 小林亘教授 (研究推進社会連携センター) ……	3	TOPICS ……	8
キラリ★電大生 理工学部 バスケットボール部 ……	4	中学校・高等学校 ……	9
働く電大人 阿部巧さん (平成27年3月 情報環境学部卒業) ……	5	キャンパスよもやま情報 ……	10
TDU LABO 熱流体関連振動研究室 ……	6	News ……	10
(理工学部 機械工学系)		Information ……	15
学び探求 「工学部第二部 実践知重点科目」vol.3 ……	7		



埼玉東上地域大学教育プラットフォーム発足式
(TJUP)



TJUP発足式に出席した各大学・短大、自治体・企業の方々に記念撮影

特集

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム発足 ～地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援～ 学長室・理工学部事務部

東京電機大学は、文部科学省「私立大学等改革総合支援事業*」を契機とし、従来から取り組みのあった埼玉鳩山キャンパス(埼玉県比企郡鳩山町)の近隣地区の大学・短期大学間との更なる連携強化に向けて、8月1日付で東武東上線沿線および西武線沿線の大学・短期大学、自治体・企業が連携する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP:Tojo and West Area Universities Platform 以下 TJUP)」(17大学・短期大学、オブザーバー(1大学)、13特定地域(市区町村))を形成しました。

埼玉県の東武東上線沿線および西武線沿線の地域は、20歳前後の人口の流出が多く、人口減少と高齢化が進むことが考えられています。このような地域社会が抱える諸課題を、TJUPのビジョン「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」の

もとに「多様な高等教育」、「生活しやすい地域づくり」、「地域産業の活性化」を掲げ、自治体と地元企業とともに諸課題の解決、地域活性化を目指しています。具体的には、上記取り組みのテーマごとにワーキンググループ(以下WG)を設置し、各大学・短期大学、自治体・企業等が連携し、各種施策を展開していくものです。

9月14日には本学埼玉鳩山キャンパスにおいて、TJUPの発足式を行いました。発足式では、代表申請校である本学の安田浩学長が開会挨拶、柏崎尚也副学長がTJUP概要の説明を行い、TJUPへの今後の期待を込めて、これからの活動について埼玉県や高等教育の現状を交えながら解説しました。

※同事業のうち、複数大学等の連携、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォームを重点的に支援するものを指します。



開会挨拶 安田学長



TJUP概要の説明 柏崎副学長

1. 設置の目的

参加する大学・短期大学が、自治体及び企業・団体と連携して、地域の少子高齢化問題の解決及び地域活性化の推進に向けた「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくり」、「地域産業の活性化」等の活動を柱として当該地域社会の継続的な発展に寄与します。

2. TJUP参加校:18大学・短期大学

埼玉医科大学、埼玉医科大学短期大学、城西大学、城西短期大学、女子栄養大学、駿河台大学、西武文理大学、大東文化大学、東京家政大学、東京電機大学、東邦音楽大学、日本医療科学大学、日本工業大学、武蔵丘短期大学、明海大学、山村学園短期大学、立正大学、埼玉県立大学(オブザーバー)

(五十音順)

3. 事業項目(予定)

- (1) IPE・IPW プログラムの発展的展開^(※)
- (2) 履修証明型市民・町民大学の提供
- (3) 生活しやすい地域づくりの推進
- (4) 地域産業の活性化

※ IPE=Inter-Professional Education(専門職連携教育)

IPW=Inter-Professional Work(多職種連携)



TJUPのホームページ

▶ <https://www.tjup.taibokudo.jp/>

4. 今後の活動予定

- (1) 基盤取組:2018 年度にTJUP全体として目標とする事項
 - ① 特定・準特定地域との協定推進
 - ② 教育地域連携懇談会に関する市民フォーラムの開催
 - ③ プラットフォーム大学入試説明会
 - ④ e-ラーニング研究会の設置および検討
- (2) 基盤取組:従来の取り組みを追認等により継続する事項
 - ① 公開講座
 - ② 単位互換制度
 - ③ 地域リスクマネジメント懇談会
 - ④ 共同研究・知財活用
 - ⑤ 教育・研究施設共同利用
 - ⑥ 人事交流制度
- (3) 多様な高等教育の提供(自治体・企業等との連携を含めた教育プログラムの開発)
 - 【IPE・IPW プログラムの発展的展開(WG1)】
 - ① 対象分野における連携教育の必要性の検証
 - ② WG参加校の増加
 - 【履修証明型市民・町民大学の提供(WG2)】
 - ① 各校での履修証明プログラムの設置
 - ② 自治体連携の詳細協議・検討
 - 【生活しやすい地域づくりの推進(生活支援検討)(WG3)】
 - ① 地域イベントへの教職員・学生派遣
 - ② 健康増進事業の実施
 - 【地域産業の活性化(WG4)】
 - ① 地域産業活性化に係る自治体等との連携協定
 - ② 地域産業活性化に係る企業等との連携協定



本学の紹介 川井理工学部長



自治体や企業からも参加

浸水対策アプリ「AREA RAIN」を開発

～工学を社会に役立てるために～



研究推進社会連携センター
小林 亘 教授

防災システムの設計と整備

私は国土交通省で全国の河川観測情報を統合するシステム、内閣府では首相官邸と全省庁を接続する中央防災無線網などの国の基幹的な防災システムの設計や整備をしてきました。これに対して、企業や住宅の防災システムの普及が、最近の災害をみると、これまで以上に重要に思われます。

浸水対策アプリ「AREA RAIN」

2012年には、防災に関する研究テーマが国の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)に採択され、東京電機大学で多くの方とこの課題に取り組んできました。SIPでは、研究成果を社会に実装することが強く求められています。工学の目的は、自然科学や社会科学を使って世の中に役立つものを作ることなので(まさしく本学の実学尊重の考えですね)、社会実装はもとより重要です。

写真1は、横浜駅周辺企業との防災の取り組みの様子です。この研究では、歩行者の邪魔にならないように排水溝(写真2)の中から電池で10年以上に渡り浸水を無線送信するセンサ、また、降雨、河川水位、潮位などを統合するシステム「AREA RAIN」(写真3)の開発などを行いました。



(写真1) 横浜駅周辺企業と防災の取り組み

幅広い分野の研究を総合して

研究成果を広く使ってもらうことは簡単ではなく、技術だけでなくマニュアルやあるいはマニュアルがなくても使えるユーザインタフェースの整備が必要です。また、評価においてもデザインを中心に分かりやすさや使いやすさなどの総合的な完成度が重要と意識せざるを得ません。総合的などという点では、実社会の問題は学問の体系に合わせて分かれているわけではないので、小さなセンサでも運用するまでには、電波工学(降雨観測)、機械工学(水位計測)、通信工学(データ伝送)、土木工学(設置計画)、情報工学(システム化と可視化)などが関わります。

これからも東京電機大学の幅広い分野の研究者のお力をお借りできればありがたく、また、学生の皆さんにはぜひ社会に目を向けて、より良い社会を作るための考え方や知識を身につけていって欲しいと思います。



(写真2)
排水溝の中から浸水を無線送信するセンサを開発



(写真3) 浸水対策アプリ「AREA RAIN」

小林 亘 教授 プロフィール (研究推進社会連携センター)

Profile

- 1984年 3月 横浜国立大学 工学研究科 電気工学 修士課程修了
- 1984年 4月 建設省(現国土交通省)入省
- 2009年 7月 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付 防災通信官
- 2014年 4月 東京電機大学 研究推進社会連携センター 教授
- 2016年 4月 東京大学 博士(工学)取得
- 2018年 4月 東京電機大学 レジリエントスマートシティ研究所 所長



4勝1負でリーグ戦優勝を決めた部員たち

理工学部 バスケットボール部

関東理工系大学バスケットボール連盟 3部リーグ優勝 ～新チームは1部昇格を目指して～

廣本 直也(理工学部 理学系2年)

バスケットボール部は、25名(1年生8名、2年生13名、女子マネージャー4名)で火曜日と金曜日の週2回活動しています。授業や課題などが忙しく人数の揃わない日もありますが、集まった部員でできる限りの練習をしています。コーチや指導者がいないため、部員たちで練習メニューを考え試合の采配も行います。試合での交代のタイミングも、みんなで意見を出し合いながら決めています。

今夏の関東理工系リーグでは優勝し、2部リーグに昇



試合前の緊迫した様子

格が決まりました。また、個人でも得点ランキング2位、アシストランキング1位という結果を残すことができました。リーグ戦は4勝1敗という成績でしたが、全試合とも接戦となり精神的にも体力的にも苦しい戦いとなりました。唯一1敗した試合では、3年生が不在ということもあり、1・2年生のみで挑みましたが1点差で負けてしまいました。このような僅差のゲームでも、しっかりと勝ち切ることが新チームの課題だと思います。リーグ戦を通じて、誰を中心に得点しどう攻撃するかという共通の認識を持ち、多くの課題を克服し優勝できたのはチームの大きな自信となりました。

リーグ戦を最後に3年生は引退し、新チームとなって最初の大会が11月から始まっていますが、チームの強みや課題を見つける大会にしたいと思っています。来年のリーグ戦は2部リーグでのスタートになるため、厳しい戦いが予想されます。より高いレベルで戦える力をつけるためにも、この大会を意味のあるものになりたいと思っています。

これからは、1部リーグ昇格という大きな目標をもって頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

技術の力で未来を救う ～サイバー攻撃による被害の少ない世の中を目指して～



ソフトバンク・テクノロジー株式会社
技術統括 セキュリティソリューション本部
セキュリティサービス部
アカウントセキュリティグループ

阿部 巧さん

平成27年3月 情報環境学部 情報環境学科卒業
情報ネットワーク環境研究室(宮保憲治教授)



恩師の宮保憲治教授と情報処理学会にて

「技術の力を身につけたい。」

何の前触れもなく、ふとそう感じた事が東京電機大学に入学しようと思ったきっかけでした。様々な分野がある中、特に情報系の分野を学びたかったため情報環境学部へ入学しました。

私は大学入学までパソコンにまともに触れた事が無く、数学の知識もほとんどなかったので、大学1年生の時は授業についていくのがやっとでしたが、新しい知識を少しずつ吸収できるという喜びを感じながら毎日勉強に励みました。

大学3年生の時、テレビや新聞などでサイバー攻撃により多くの方々が被害を受けているという現実を知りました。そこで情報系の分野を勉強している者として、サイバー攻撃から一人でも多くの方を救いたいと感じ、卒業後はセキュリティ業界へ進もうと決心しました。

多くの企業がある中、ソフトバンク・テクノロジー

株式会社に惹かれたきっかけは「情報革命で人々を幸せに～技術の力で、未来をつくる～」という理念です。「技術の力を身につけたい」と東京電機大学に入学し、勉強した私にとってはまさに出会うべくして出会った企業であると感じずにはいられませんでした。

現在は、通信会社のSOC(セキュリティオペレーションセンター)で、組織に向けられたサイバー攻撃への対策を考え、攻撃の検出や分析を行うアナリストとして仕事をしています。増加するサイバー攻撃を100%防ぐ手段はありませんが、被害を減少させる為に取り組み続ける事が大切です。私は、サイバー攻撃についてどんな小さな事でも知り、友達や親族など周りに向けて発信するという事が有効な対策になると信じています。

どうか読者の皆さんも認識してください。私と一緒にサイバー攻撃による被害の少ない世の中を目指していきましょう。



在学時は学園祭実行委員会に所属(前列左から3番目が筆者)



学生時代に研究室のメンバーと(後列1番左が筆者)

熱流体関連振動研究室

～高速流体の振動現象、 流体と物体間での熱移動に関する研究～

理工学部 機械工学系
遠藤 正樹 教授



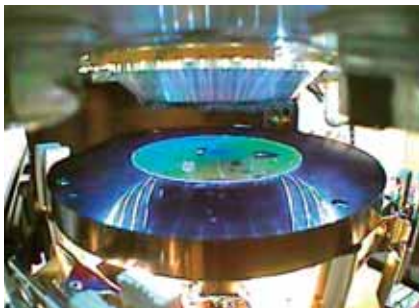
私の所属する「機械工学系」は、今年度理工学部に新たに誕生した学系です。学系の全教員が、第一期生の成長を楽しみに授業を行っています。4年後、6年後の彼らの就職活動も気になりますが、今は機械工学の基礎力の定着に主眼を置いた講義を展開しています。機械工学の基礎は材力、機力、流力、熱力の4力学で、私の専門は二つの力学に跨った熱流体工学です。圧縮や膨張による温度変化の大きい高速流体の振動現象や、流体と物体との間での熱移動に関連する研究を進めています。

学生時代は、このような現象を数値計算を用いて解析し、実験結果と比較検討を行っていました。アイデアをプログラミングし、計算結果と実験結果が一致した時に何とも言えない興奮を覚えました。この興奮が忘れられず、30年たった今も教員として研究を続けています。

興奮の源となるアイデアの創出は私の場合、段階的に行っているようです。最初は、他分野の先生や企業

の方との緩やかな会合での話からアイデアの種を見出し、その後、入浴中等のリラックスした状態を活用してその種を具体化させていきます。思いついたアイデアが全て成就するわけではありません。アイデアが浮かんだら、まずは簡単なもので試すことを心がけています。イメージと現実のギャップが想像以上に大きい場合も度々ありますが、その過程での試行錯誤が非常に重要で新たなアイデアに繋がります。このような創出プロセスが、興奮をさらに高めてくれます。

私の研究室は、年間を通して多くのイベントがありOFFの時はしっかりと楽しむ雰囲気があります。また、熱や流体の現象解明から実際のプラントが抱えている問題の解明までと研究対象が幅広いため、様々なタイプの学生が集まります。多趣味な学生も多く、話をするだけで自分まで経験した気分になります。研究室の学生には研究活動を通じて、私が学生時代に経験したアイデアの創出による興奮を味わってもらいたいものです。



超音速噴流による冷却の実験



研究対象が幅広く様々なタイプの学生が集まる

「電大ガールズ」D-girls

11月3日・4日に開催された学園祭(旭祭)では、「揚げドーナツ」を販売しました。豆腐を生地に入れ、外はカリッと中はふわとしたドーナツに仕上がりました。また、今回からストロベリーソースをトッピングに追加したことにより、おいしそうなソースの組み合わせが増えました。初めての試みでしたが、両日とも完売することができました。

現在は、12月25日に開催予定のクリスマス会の準備を進めています。東京電機大学の学生及び教職員の方は、是非お越しください。



ホイップとストロベリーソースの組み合わせ

電大ガールズ リーダー

ロボット・メカトロニクス学科 3年 塚越 泉

「工学部第二部 実践知重点科目」vol.3 ～社会人対象、実践能力の育成を目的とした授業～

東京千住キャンパス事務部



実践知重点科目は、後期から9科目が開講。在学生・履修証明プログラム生に加え、企業研修の一環として3科目に各2名、計6名の社会人が受講しています。今回は技術者プレゼンテーションの紹介です。

「技術者プレゼンテーション」

技術者プレゼンテーションは、一風変わった授業構成になっています。5回目までは、「分かりやすい表現」の技術に留意しながら、上司の課長を説得するためのプレゼン(パワーポイント)を作成します。課題はエアコン筐体の高強度・軽量化のアイデアをプレゼンするというもので、根拠データ(仕様、実験・計算結果など)は、機械工学の先生から渡されます。6回目からは、講師は建築デザインの先生にバトンタッチ。授業の内容は、「伝わるパワポを作るコツ」です。先生からは、「ひと手間かける」、「Simple is Best」の2つを柱にテクニックやデザインについて、受講生が作成したパワポを例に修正点が指摘されます。

「これはAさんのパワポです」。ここでAさんがちょっとヒヤリ。「データを並べて表示し比較できるのは、分かりやすいですね」。Aさん、少しホッとせずニヤリ。「でも、使用している色とフォントが多すぎます。色を絞り、フォントも統一し、サイズも大中小の3パターンでメリハリをつけましょう」。そう説明しながら先生が順次、修正していきます。Aさんも含め、全員「な

るほど」と納得です。

7回目は、先生から伝授されたコツをもとに修正したパワーポイントを使い、みんなの前でプレゼンです。一人が発表者、もう一人が講評者の二人一組。工夫を凝らした図や写真、時には社員になりきっての演技、手厳しくものを射た講評に拍手が起こります。「Simpleにすると、手間をかけていないところが目立つ。丁寧に作る事が大切」との先生からのアドバイスが耳に残りました。

次回は、より簡潔にまとめた社長への5分間プレゼンです。社長を説得させるためには口調や伝える熱意も重要とのこと。社長が専門外の場合も想定してとのことと楽しみです。

本授業は、11回目からは作成したパワーポイントもとに、いよいよ英語でのプレゼンについて学びます。



作成したパワーポイントでプレゼンする受講生

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.15

ベンジャミン・フランクリン アメリカ合衆国 ● 1706年～1790年

雷が電気であることを証明

「君の仕事を追いかけよ、仕事に追われるな」

100ドル紙幣に肖像画
常に勤勉で自己啓発、公益のために尽くした

頃は18世紀半ば。ライデン瓶(蓄電器)の実験が行われたことを知ったフランクリンは、瓶の電極に発する火花や電撃は、雷の光や落雷と同じであると考えました。そこで1752年、雷雨のなか、針金を付けた凧をあげる実験を実施しました。凧糸にぶら下げた金属製の鍵に指を近づけると、パチパチ。その電気を鍵からライデン瓶に取り込むことに成功。この危険な実験で、神の意志であるとされていた雷が電気であることを証明したのです。雷の電気にはプラスとマイナス両方の極性があることも確認した、といわれています。また、避雷針、熱効率のよいストーブ、遠近両用眼鏡、グラス・ハーモニカも発明。特許は取得せず社会に還元。独学によって数々の業績を残しました。



貧しい家に生まれたフランクリンは、10歳で学校を終え、印刷工として働き、新聞発行で成功した後、アメリカ初の公共図書館を設立。優れた文筆家、政治家、外交官であり、アメリカ独立宣言の起草委員で、「アメリカ建国の父」と称されます。アイビーリーグの名門ペンシルベニア大学の創設者のひとり。



子供たちで賑わうブース

あだち国際まつり2018 ～留学生が子供たちと交流～

国際センター

11月3日に、国際交流イベントであるあだち国際まつり2018が足立区ベルmont公園で開催されました。このお祭りでは、普段の生活では味わうことのできない様々な国の文化を体験することができ、楽しい交流の場となりました。

国際センターは、「頭が良くなる立体モデル作り～不思議な立体を組み立ててみましょう～」というテーマで出展しました。ブースでは、折り紙で12面体と5面体を組み合わせた3次元モデル作りを行い、たくさんの子供たちが訪れました。幼い子供は母親と一緒に、小学生は友達と一緒に折り紙に絵を書き、3次元モデル作りを楽しみました。お孫さんのため、折り紙を取りにきてくれるおじいちゃん、おばあちゃんの姿もありました。

当日は、小学生を中心に約70名の方にお越しいただきました。本学を知ってもらい、子供たちは立体の展開図を想像し、頭の中で立体を操作することを体験するよい機会となりました。



参加した留学生



歓迎会で安田学長より挨拶

東京電機大学 ホームカミングデー ～旧友、恩師との再会～

学長室

11月3日に東京千住キャンパスにて、ホームカミングデーを開催し、卒業生・教職員等合わせて525名の方にご参加いただきました。

当日は、午前中よりキャンパスツアーや同窓会出の広場での交流が行われ、午後より全卒業生の方を対象とした歓迎会と5年毎卒業生の方を対象とした懇親会を開催しました。(懇親会の対象は、昭和18、23、28、33、38、43、48、53、58、63、平成5、10、15、20、25年の工専、大学院、大学、短大、電機学校の卒業生です。)

丹羽ホールで行われた歓迎会では、参加者全員による校歌斉唱に始まり、石塚昌昭理事(加藤康太郎理事長の名代)、安田浩学長、松尾隆徳校友会理事長より、本学を取り巻く環境や校友会の近況等について報告がありました。

引き続き100周年ホールで行われた懇親会では、冒頭に相原浩一大学同窓会長よりご挨拶並びに乾杯の発声をいただいた後、卒業生が旧友や恩師等との再会を果たされ、世代を越えた交流が見られました。最後に、川上茂学賓よりご挨拶いただき三本締めで盛況のうちに閉会となりました。

ご来場いただきました卒業生の皆様に厚く御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援の程お願い申し上げます。



午前中に行われたキャンパスツアー

鉄道の日

～鉄道研究部が地域イベントに参加～

明治5年(1872年)10月14日、新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業したことを受け、平成6年にその誕生と発展を記念して、10月14日を「鉄道の日」と決めました。JRグループや私鉄などの各鉄軌道事業者が、鉄道の日イベントと称してイベントを開催しています。

本校鉄道研究部(通称TDUてっけん)は、nonowa東小金井と協力して「東小金井鉄道の日イベント」を開催しました。イベントではミニ列車乗車体験・駅長制服体験・プラバン工作やペーパークラフト・プラレール展示などを行い、小さな子ども連れ家族で大盛況でした。

鉄道研究部は、8月に開催されている鉄道模型コンテストで5インチゲージを乗車できるミニ列車を走らせたり、ジオラマを作成したりしています。9月のTDU武蔵野祭ではそれらに加えて、昨年からOBと協力して実物の運転台と電子黒板を接続したシミュレーターを展示するなど、鉄道模型コンテストで何度も入賞している活発な部です。

昨年、東京小金井キャンパスで開催したオールセー
スクールミュージアムがきっかけとなり、生徒は
こうしたコラボ企画を通じて地域のイベントに積
極的に参加するようになっていきます。

(鉄道研究部顧問 山内雄司)



ミニ列車乗車体験



生徒が作成したジオラマ



プラレール展示



東京千住キャンパス
士維(SIE)の会



10月13日に、情報環境学部同窓会士維(SIE)の会を開催しました。今年度はキャンパス移転に伴い、東京千住キャンパスでの開催となりました。家族連れで参加する卒業生も見られ、旧交を温め恩師を囲んで近況の報告を行い、懇談のひとときを過ごされました。

今後、学生時代の思い出の詰まったキャンパスとは違う場所での開催となりますが、同会による活発な活動を期待しています。

(情報環境学部事務部 柳澤)

埼玉鳩山キャンパス
大学進学相談会



11月3日・4日と鳩山祭を開催し、多くの来場者で賑わいました。

同日、本学の受験を考えている方々の相談や質問にお答えする大学進学相談会というイベントも開催し、入試を間近に備えた受験生や親御さんなどが相談にいらっしゃいました。

入試本番まで、あとわずか。がんばれ受験生!

(理工学事務部 高木)

東京小金井キャンパス
たまサイエンス

10月28日に八王子学園八王子中学校・高等学校で「たまサイエンス」が行われました。本校は昨年に引き続き、2回目の参加となり、今年もプログラミング教室を開催しました。

今回はプログラミングで、“こくり”というロボットを自由に動かす体験してもらいました。講師・サポート役は本校コンピュータ部員です。小学生が夢中でロボットを動かす姿が印象的でした。

(高等学校教諭 中田)



はじめての海外留学説明会 国際センター

10月3日に、今まで海外渡航経験がない学生を対象とした、はじめての海外留学説明会を開催しました。留学に必要な語学力や準備などの基礎知識について、より多くの日本人学生に知ってもらいたいと思い、説明会を開催することとなりました。

当日は、東京千住キャンパスと埼玉鳩山キャンパスを中継し、約40名の学生が参加しました。説明会では、留学の種類、語学力、宿泊形態、準備期間、費用、学内の英語学習機会や大学で募集している語学研修プログラムの紹介をしました。

留学の準備や事前の語学学習は苦勞するものですが、留学の経験から得られるものはとても価値があるものです。今回の説明会をきっかけに、海外留学を目指す学生がより具体的に留学をイメージできるようになってもらえたらと思います。



約40名の学生が参加

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



伊藤 千紘さん(3年)
情報環境学部 情報環境学科

ソウ キンさん(4年)
未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科

前田 英作教授
システムデザイン工学部 情報システム工学科

酒造 正樹プロジェクト研究准教授
システムデザイン工学部 デザイン工学科

Sussex-Huawei Locomotion Challenge

3位入賞

平成30年10月12日



日野 雅司准教授
未来科学部 建築学科

日事連建築賞

優秀賞

平成30年10月5日



土肥 紳一教授
システムデザイン工学部 デザイン工学科

今野 紀子教授
システムデザイン工学部 人間科学系列

第17回情報科学技術フォーラム

FIT 奨励賞

平成30年9月21日



河村 天暉さん(修士1年)
未来科学研究科 情報メディア学専攻(計算言語学研究室)

第17回情報科学技術フォーラム

FIT 奨励賞

平成30年9月21日



西牧 駿さん(修士1年)
工学研究科 電気電子工学専攻 電気電子システムコース(デジタル信号処理研究室)

平成30年電気学会電子・情報・システム部門大会

Outstanding Student Presentation Award

平成30年9月8日



彦坂 宗之介さん
平成30年3月 未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻 修了

電気学会

平成29年 電子・情報・システム部門「知能情報研究会」

研究会奨励賞

平成30年9月6日



金井 勇介さん(修士2年)
理工学研究科 建築・都市環境学専攻(地盤防災・環境工学研究室)

公益社団法人 地盤工学会 第53回地盤工学研究発表会

優秀論文発表者賞

平成30年9月4日

(受賞日順)

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



菊地 匠さん(修士2年)

工学研究科 機械工学専攻 機械工学コース(メカトロニクス研究室)

The seventh International Symposium of Aero-Aqua Biomechanisms ISABMEC2018

Student Award

平成30年9月1日



東京千住キャンパス放送委員会

森田 康平さん(3年)

稲田 優介さん(3年)

小林 永樹さん(3年)

根岸 将太さん(3年)

枡澤 淳宏さん(3年)

未来科学部 情報メディア学科

Opened Media Entertain Circles夏のモニター会

最優秀賞

平成30年8月23日



釜谷 尚宏さん(2年)

システムデザイン工学部 情報システム工学科

Opened Media Entertain Circles夏のモニター会

CM賞

平成30年8月23日



田中 紘世さん(修士2年)

工学研究科 情報通信工学専攻(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

齊藤 泰一 教授

工学部 情報通信工学科

The 5th International Conference on Computational Science/ Intelligence & Applied Informatics

Special Session on Analysis, Evaluation, and Usage of Web Information, System Behaviors,
and Human Actions**Outstanding paper**

平成30年7月12日



早川 拓郎さん(修士2年)

未来科学研究科 情報メディア学専攻(情報セキュリティ研究室)

DICOMO2018

ヤングリサーチャー賞

平成30年7月6日



花井 俊孝さん(4年)

情報環境学部 情報環境学科(インタラクション研究室)

DICOMO2018

優秀プレゼンテーション賞

平成30年7月6日

(受賞日順)

後援会だより

各キャンパスで父母懇談会開催

東京千住キャンパス

9月22日にシステムデザイン工学部と情報環境学部、9月29日に未来科学部、10月20日に工学部と工学部第二部1・2年生、11月10日に工学部と工学部第二部3・4年生を対象に開催しました。

大学の現況を報告する全体説明会、学科別説明会や個人面談、キャンパスツアーにご参加いただきました。
(9/22:システムデザイン工学部 102組158名、情報環境学部 103組152名。9/29:254組350名。10/20:294組418名。11/10:244組363名)

埼玉鳩山キャンパス

9月15日に開催し、全体説明会や学系別説明会のほか、午後には個人面談、キャンパスツアーにご参加いただきました。

さらに後援会ブース、在学生による就職活動体験談、成績や就職に関する相談コーナーも設置し、多くの方に足をお運びいただきました。
(404組621名)

ご参加いただきましたご父母の皆様ありがとうございました。



キャンパスツアーでものづくりセンターを見学

校友会だより



大学同窓会主催「似顔絵コーナー」「OB交歓会」

各キャンパスの学園祭で大学同窓会主催による似顔絵コーナーとOB交歓会を開催しました。

東京千住キャンパスでは、似顔絵コーナーを校友会事務室近くのロビーに設けるようになって、数年が経ちました。似顔絵師をお招きして、ご来場された方の似顔絵を描いていただいています。おかげさまで、リピーターも増えてまいりました。

埼玉鳩山キャンパスでは、OB交歓会を毎年開催しています。理工学部だけではなく、他学部の卒業生の方にもお越しいただき、学部を越えて親睦を深めることができました。



東京千住キャンパス似顔絵コーナー

出版局 新刊のご案内

今月の新刊は、未来社会を地域コミュニティの視点から考えた書籍1点です。

●横幹〈知の統合〉シリーズ
ともに生きる地域コミュニティ
—超スマート社会を目指して

横幹〈知の統合〉シリーズ編集委員会編
A5判 144頁 1,944円

人間を中心とした望ましい地域社会のあり方を検討し、どのようにサイバー空間と地域(都市)を計画すればよいか、事例をもとに提言。



TDU
電機大
出版局

学生だより

学園祭を終えて

東京千住キャンパス
第7回 旭祭

第7回旭祭実行委員会 委員長
工学部 電気電子工学科
電子光情報コース
3年 齊藤 正志



11月3日と4日に、第7回旭祭を開催しました。2日間とも天候に恵まれ、約7,650名の方にご来場いただきました。

今年は、情報環境学部と同研究科の千葉ニュータウンキャンパスからの移転もあり、例年より多くの学内団体が参加しましたが、大きな事故もなく活気溢れる旭祭を開催できました。私の中で目標としていた「旭祭に関わる全ての人々が楽しめる学園祭」を達成できたのではないかと思います。

最後に、地域の方々をはじめ、多くの方々にご協力いただき旭祭が成功したことに深く感謝申し上げます。来年度の旭祭もよろしく願い致します。



子供の広場

埼玉鳩山キャンパス
第42回 鳩山祭

第42回鳩山祭実行委員会 副委員長
理工学部 情報システムデザイン学系
2年 美山 悠斗



11月3日と4日に、第42回鳩山祭を開催しました。初日は、1年生を主体とした毎年恒例のファイヤードダンスを行い、今年は練習時間が少なく心配しましたが無事に終わることができました。2日目は、午後から雨が降り始めたため、一部の模擬店は早めに閉店させることになりました。

しかし、例年より1日少ない2日間の開催であったにも関わらず、約6,000名と昨年より多くの方にご来場いただきました。

最後に、鳩山祭の準備を頑張った実行委員会のメンバー、鳩山祭を盛り上げてくれた方々に深く感謝申し上げます。今後も、鳩山祭をよろしく願い致します。



学生団体の展示

時代を越えて—東京電機大学の軌跡

大学発展期(1) | Vol.15 |

〈昭和36年～昭和52年〉

昭和32年、世界最初の人工衛星スプートニク1号の打ち上げ成功以来、世界は宇宙開発時代に入り、またその頃から始まった電子計算機の急速な進歩発達により、科学技術は新しい時代に入った。昭和38年、本学においても前年竣工の5号館に電子計算機センターを開設した。

さらに工学研究科に博士課程を、工学部第一部、同第二部、高等学校工業科及び電機学校に多くの学科を増設した。

これらにより神田校舎は手狭となり、創立50周年記念事業の一つとして小石川校舎を建設し、高等学校が移転(昭40)、後に電機学校も移転(昭43)した。

昭和43年、中央大学より取得した旧神田区役

7号館に建設した
教育工学センター



所跡地に、創立60周年記念事業の一環として、敷地の高度利用ならびに教育用電子機器の高度利用などを盛り込んだ学習センターとして、7号館を建設した。約700台の有線テレビと200ブースのL.L.教室を集中コントロールする最新鋭の教育工学センターは、斯界の注目を集め、見学者が絶えなかった。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」
(一部読みやすく修正しています)

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

微かなる涼風愛でつ老介護
白雨すぎ秋篠寺に苔匂ふ
地下二階へのエスカレーター炎暑より

廻子(大園成夫)

鷗村(藤田聡)

七美男(松田七美男)

Information

大学の理系サークル合同イベント

理科(サイエンス)サークルフェスタ2018開催

東京千住キャンパス事務部

理科サークルフェスタ2018(理科フェス)が東京千住キャンパスにて開催されます。

理科サークルフェスタとは、明治大学、中央大学、法政大学、東京電機大学を中心とした、主に首都圏の大学の理系サークルが合同で展示を行うイベントで、機械、情報、天文、生物、農学など、幅広いジャンルで色々な大学のサークル展示をご覧いただけます。成果発表や展示はもちろんのこと、ロボット競技大会、ライトレーサー大会、電子工作教室等の様々なイベントが行われます。

毎年多くの学生や一般の方にご来場いただき、盛況を博しているこのイベントは、中学生、高校生、社会人など、サイエンスに興味のある方なら誰でも大歓迎。多くの方のご来場をお待ちしております。

日 時 12月9日(日) 10:00~17:00

会 場 東京千住キャンパス
北千住駅東口(電大口)徒歩1分

参加団体 首都大学東京、神奈川工科大学、中央大学、電気通信大学、東京工科大学、東京都市大学、日本工学院八王子専門学校、日本大学、法政大学、明治大学、立命館大学、東京電機大学(順不同)

主なイベント

団体	イベント	
東京電機大学	電子技術研究部	電子工作教室
	自動制御研究部	ロボット競技大会
	オーディオ研究部	製作したスピーカーの展示・試聴体験
	鉄道研究部	模型展示・運転シミュレーターの操作体験
東京電機大学・中央大学	天文部	プラネタリウム
法政大学	電気研究会	二足歩行ロボット大会
明治大学	オートメーション研究部	ライトレーサー大会
全ての大学	—	学生生活相談会

※その他、参加団体の展示発表もあります。詳細は下記ホームページをご参照ください。

URL:<http://www.sg.dendai.ac.jp/slg-honbu/ScienceFes2018/>

申 込 み 不要(参加費無料)

主 催 明治大学、中央大学、法政大学、東京電機大学(順不同)

お問合せ 東京電機大学 東京千住キャンパス 学術研究部会本部
TEL. 03-5284-5368 e-mail:rikafes@gmail.com



編集後記

各キャンパスの学園祭が終了しました。例年以上の来場者を記録し、盛況だったとの報告が届いています。来年もまた、魅力ある学園祭が開催されることを楽しみにしています。

ご協力いただいた地域の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。



自然の力を活かした環境配慮型印刷